

活性化に向けた取り組み 【信太暮らし体験イベント】

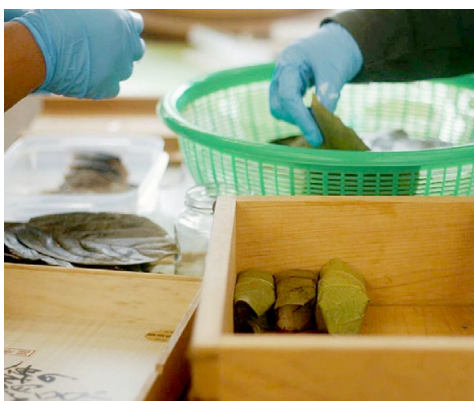
令和5年から、柿の葉寿司づくりやしめ縄づくりなど、信太の人や暮らしに触れるイベントを企画しています。

参加者から「今後も信太に関わりたい」という声を多くいただいております、実際に移住にも繋がっている成功事例の1つです。

令和6年に開催した柿の葉寿司づくり体験イベントには、県外や橋本市内から申込みがあり、大好評でした。参加者と地区住民が楽しく交流し、和気あいあいのイベントとなりました。

令和6年の主な取り組み

- 1月 嵯峨の滝 魅力アップ清掃活動
- 6月 嵯峨の滝 魅力アップ清掃活動
- 7月 地域の子ども向け虫捕りイベント
- 8月 夏休み自由研究イベント
- 10月 秋まつり開催 with オカザキ紀芳庵
信太暮らし体験「柿の葉寿司づくり」
- 11月 クリスマスリースイベント
@SHINODABASE
- 12月 信太暮らし体験「しめ縄づくり」
嵯峨の滝環境再生ワークショップ



柿の葉寿司づくりイベント

柿の葉寿司づくりの講師
平田ますみさん（信太地区在住）

地域の人たちを巻き込んで何かするのは難しいことだと思っています。そんななか、若い人たちが頑張ってくれているから貢献したくて引き受けました。

イベントも毎年違う人が来られ、大変いいことだと思っています。食べものを作って一緒に食事を囲むから話が弾んで、楽しいです。

柿の葉寿司は秋祭りに食べていた郷土料理なので、皆さんに知ってもらいたいです。他にも信太の郷土料理を紹介できたらいいなと思います。

移住者の声を紹介します

イベントを通じて移住を検討



よしかわかな
吉川花菜さん
移住元 大阪府

令和5年のイベントに参加し、先輩移住者の暮らしを見て、空き家に出会い、移住を検討しました。現在は、購入した古民家を改修中です。焚き火でご飯を炊いたり、ご近所さんと話したりしながら、信太の暮らしに馴染んでいます。山の上は空気が綺麗でとても静か。たくさん自然の音が聞こえてきます。なるべく自然に負担をかけない暮らしにしたいなと思っています。



暮らし体験（柿の渋抜き）



はざまさき
裕 沙季さん
移住元 東京都

家族で移住、協議会の取組みにも参加

活動の中でやっぱり信太に魅力を感じるし、地元の人々が今まで大切にされてきたものを守っていききたい思いが強くなりました。何より、同じ思いで活動する仲間が増えてきたこと、外部からも信太に興味を持ってくださる人がいると実感できるようになったことが嬉しいです。今後自分ができることを生かしながら信太での暮らしを発信していけたらいいなと思います。



扉の絵（裕さん作）の前で
集合写真

地域おこし協力隊も活動に参加しています



たなか たつや
田中 達也さん

任期 令和6年4月～令和9年3月
移住元 大阪府
業務内容
・インスタグラムでの発信
・月刊誌「信太で暮らそ」LINE配信
・地域交流拠点の企画・運営
・信太地区振興協議会の運営サポート
主な取り組み
・子ども向けのイベント企画実施
・地域文化継承イベント企画実施
・不用品活用「ぐるぐる市」開設
・試験的にカブトムシ飼育販売

応募したきっかけ
しごと暮らし体験で信太を初めて知りました。豊かな自然、街に近く大阪にも近く、同世代が地域のために頑張っている姿を見て応援したくなりました。地域の皆さんとの関わりで温かさ、優しさを感じたことも理由の1つです。

活動を通じて

初めは、協力隊の立ち位置や役割に戸惑い苦戦しましたが、地域の人が助けてくれて、徐々に自分の役割を見出すことができています。着任

地域おこし協力隊

地方へ都市部の人材が住所を移し、地域住民と協力しながら地域活性化の支援などに従事します。あわせて隊員の移住定住や定着を図りながら地域の活性化を目的とする総務省の制度です。



センター開放日に亀のわら細工をみんなで作りました



かみやま
徳島県神山町へ地域活性の先進事例視察

地域プロジェクトマネージャーの活動



いもとまお
井本真央さん
移住元 熊本県

令和4年7月に地域プロジェクトマネージャーに着任し、信太地区の活性化に関する企画・運営を行なっています。

6月で任期満了となります。活性化の土台を作る過程はまさに「協働」でした。外から来た私を、信太の一員として迎え、助けてくれた地域の皆さんに感謝しています。これから住民、そして一事業者として、信太の発展に関わり続けていきます。

次のテーマは「自走」

地域活性において、普遍的な課題である「活動を維持発展できる基盤づくり」に注力します。その為に補助金を活用し、収益事業を立ち上げる予定です。地域主体で運営し、行政と協働・連携を行う基盤づくりを行います。

信太の魅力を発信するイベントに加え、空き家の利活用、農産物の販売促進、里山の保全、高齢者の健康促進などを予定しています。

「ないもの」に目を向けるのではなく、「地域にあるヒト・モノ・コト」に目を向けて、子どもからお年寄りまで、みんなが能力発揮できる、協働の地域づくりを目指します。

問合せ

農林振興課 33-6113

信太地区の情報を発信中／



月刊誌「信太で暮らそ」
LINEアカウント「信太暮らし」で配信中（LINEへは
Instagramから）



Instagram
アカウント
「信太暮らし」